

この付録は、佐世保市の平成20年度(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の台所(財政)事情をわかりやすくお知らせするために制作した情報誌です。

25万人の台所事情

させぼさんちの家計簿

平成20年度決算

平成20年4月1日～平成21年3月31日

みんなで守ろう地域の平和!!

佐世保市の財政状況を地域を守る「させぼさん」一家の家計簿にたとえてみました!

ケロレッド(パパ)

わが家の大黒柱!!
仕事熱心なパパだけど
休みの日はいっぱい遊んでくれるから大好き。

ケロピンク(わたし)

お兄ちゃんよりもしっかりしてる(?)と、思ってるわたし、ママのお手伝い大好きなお利口さんです。

ケロブルー(お兄ちゃん)

一人暮らしをはじめたばかりで大変だけど、勉強にサークルに頑張ってます!

ケロイエロー(おとうと)

カワイイ、カワイイ、わが家のアイドル!
何にでも興味があるお年頃です。

ケログリーン(ママ)

家事のことはおまかせ!
といつも元気なママ。

ブラウン
(見習い:ペットのポチ)

25万人の台所事情 とせぼさんちの家計簿

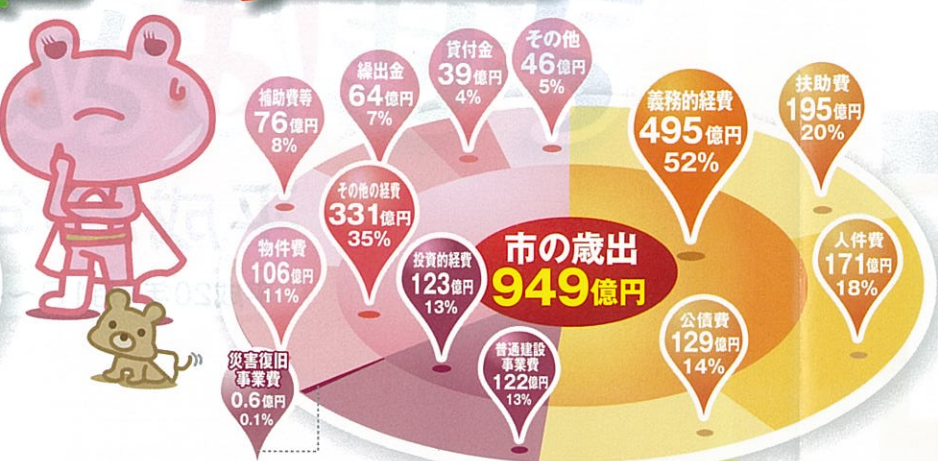


佐世保市の平成20年度決算(一般会計)を、年収500万円の家計に見たてて、1カ月あたりの家計簿を作ってみました。

どんな収入があるの?



どんな支出があるの?



- 市税**
市民の皆さんから納めていただく税金です。
市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など
- 使用料・手数料**
市の施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など
- 地方交付税など**
国の税金や県からもらったお金など
- 市債**
国や銀行などから借りたお金
- 繰入金**
市の基金から引き出したお金
- 繰越金**
昨年度残ったお金

収入		支出	
現金収入合計	356,700円	生活費合計	242,500円
[現金収入の内訳]		[生活費の内訳]	
① 給料	124,200円	① 食費	62,500円
② パート収入	39,200円	② 医療費	81,700円
③ 祖父母からの仕送り	193,300円	③ 光熱水など雑費	63,300円
④ 借金	30,800円	④ 車などの修理代	1,700円
⑤ 貯金の取り崩し	13,300円	⑤ 教育費	33,300円
⑥ 繰越金	15,800円	⑥ 子供への仕送り	27,500円
		⑦ ローンの返済	54,200円
		⑧ 家や庭の建築・改修	43,300円
		⑨ 借付など	20,000円
		⑩ 貯金	13,300円
A	416,600円	B	400,800円
A-B = +15,800円 残ったお金			
貯金残高	650,000円	ローン残高	5,710,000円

- 人件費**
市職員の給料や議員報酬など
- 扶助費**
生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使うお金
- 物件費など**
光熱水費や業務委託料など
- 維持補修費**
市の施設の維持補修に使うお金
教育費はグラフの「人件費、物件費、普通建設事業費」などに含まれています
- 他会計への繰出金**
下水道事業や介護保険などの他の会計への繰出金
- 公債費**
市債の元金・利子や一時借入金の利子
- 普通建設事業費**
道路や学校など、公共施設の新築・改修に必要なお金
- 貸付金など**
融資資金預託金や福祉、地域振興のために貸すお金
- 積立金**
基金への積み立て

自分で稼いでいる収入は19年度に比べわずかに増えていますが、依然として5割弱しかなく、残りはまだまだ仕送りや借金で賄っています。
家計がまわるようにやりくりを努めて、借金は若干減っているけど、まだ残高は年収を超えています。
今後、収入が増えることは期待できないから、医療費や仕送りが増えることを考えると、収入に見合った支出を心がけたい…。

20年度のポイント

- 義務的経費の増加
 - ・市職員の給与などの人件費は人員見直しなどにより減少。
 - ・法や社会保障制度に基づいて義務的に支払う扶助費が増加。
 - ・市の借金の返済である公債費が減少。
- 投資的経費は減少
 - ・廃棄物処理施設、火葬場などが完成したことにより投資的経費が減少。

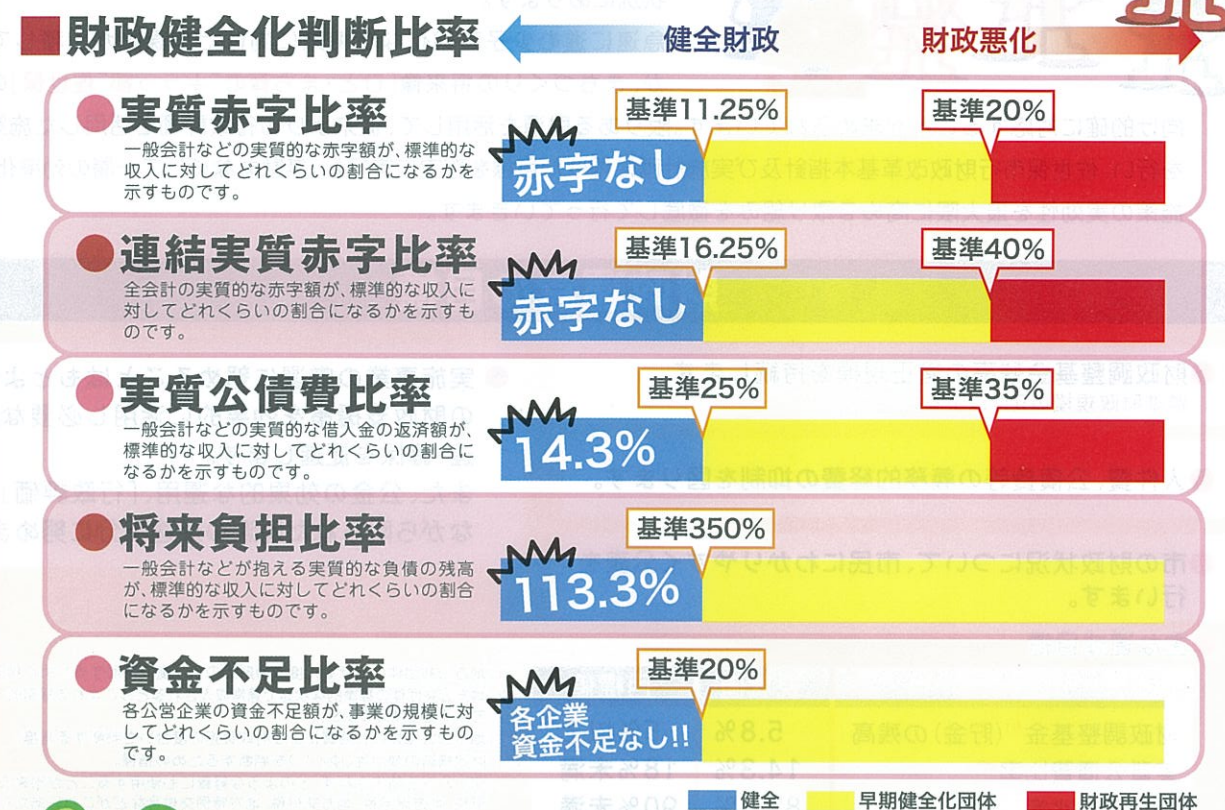
20年度のトピック

- 指定ごみ袋購入補助券方式の開始。
- 九十九島の絶景スポットとして「九十九島八景」の選定。
- 佐世保市、江迎町、鹿町町の合併協議会の設置。
- 韓国・坡州(パジュ)市と国際親善都市の提携。
- させぼ世知原温泉「山暖泉」の新温泉がスタート。

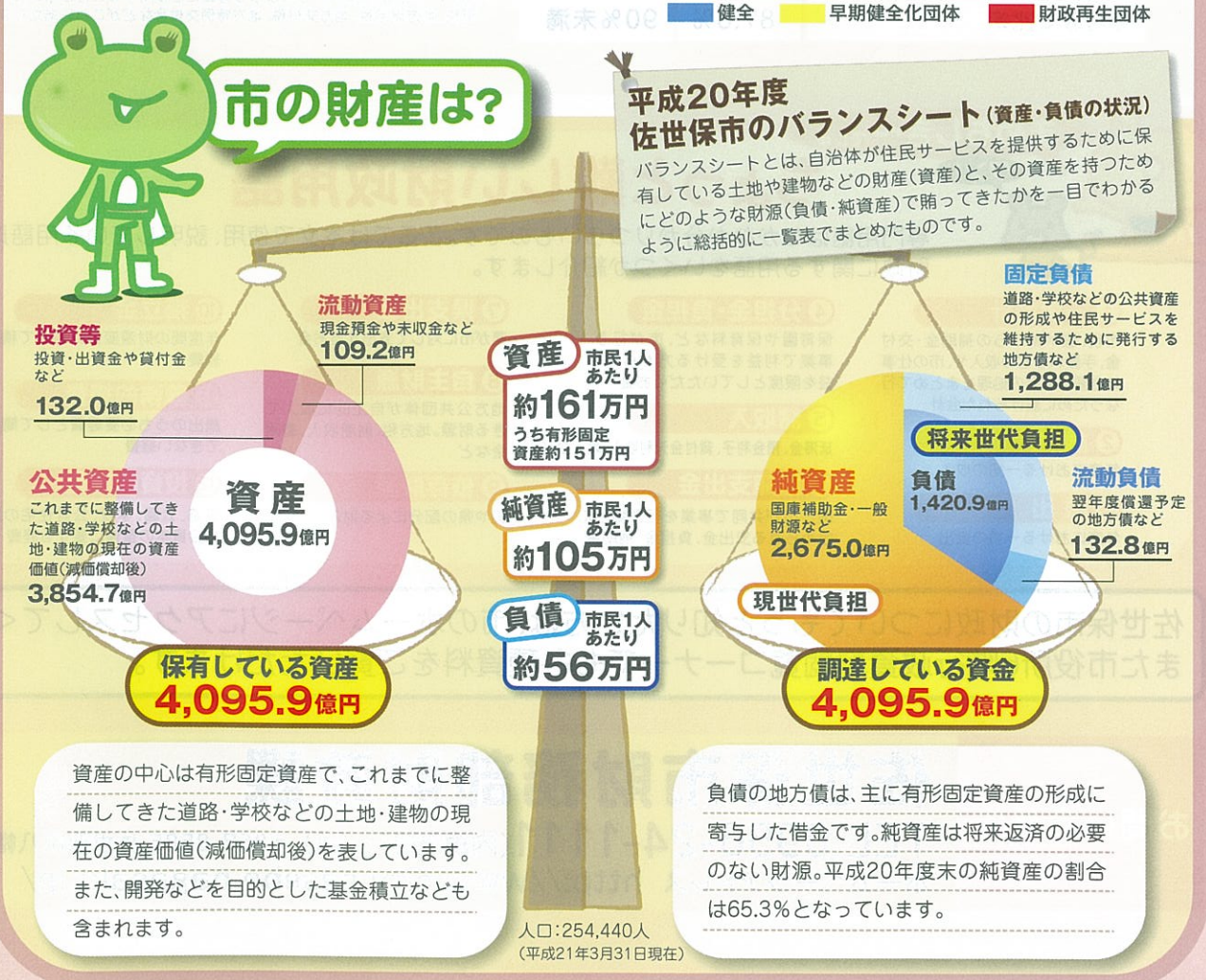


市の財政は健全なの?

佐世保市は全て青の枠に入っているから健全! ってことだね。



市の財産は?



資産の中心は有形固定資産で、これまでに整備してきた道路・学校などの土地・建物の現在の資産価値(減価償却後)を表しています。また、開港などを目的とした基金積立なども含まれます。

負債の地方債は、主に有形固定資産の形成に寄与した借入金です。純資産は将来返済の必要のない財源。平成20年度末の純資産の割合は65.3%となっています。

これからも健全な財政運営を行います。



地域経済の脆弱な佐世保市は、一般財源の必要量の確保は厳しい状況にあります。

急速に進む少子高齢化など将来に向けた諸課題が山積しているなか、まちづくりの将来像「ひと・まち育む“キラっ都”佐世保」の実現に

向けの確に対応することが求められています。限りある財源を活用して、従来よりも行政評価を活用した施策の点検を行い、佐世保市行政改革基本指針及び実施計画に掲げた目標を確実に実行し、無駄をなくして一層の効率化を図り、施策の実効性を最大限に高める取り組みを徹底して行っていきます。

財政運営の目標

- 財政調整基金残高の適正規模を持続します。
標準財政規模の5%以上を確保

- 人件費、公債費等の義務的経費の抑制を図ります。

- 市の財政状況について、市民にわかりやすく公表を行います。

- 主な達成目標

成果指標	現状値	目標値
財政調整基金 ^{*1} (貯金)の残高	5.8%	5%以上 ^{*2}
実質公債費比率 ^{*3}	14.3%	18%未満
経常収支比率 ^{*4}	87.8%	90%未満

- 実施事業の厳選に努めることはもとより、国・県の財政支援策を効果的に活用し必要な財源の調達・確保を促進します。

また、公金の効果的な運用、「行政評価」を活用しながら限られた財源の最適配分に努めます。

^{*1}: 地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調節するために積み立てておく資金。
^{*2}: 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるとみこまれる経常的一般財源^{*5}の規模に対する基金残高の割合。

^{*3}: 地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標。

^{*4}: 財政構造の弾力性(ゆとり)を判断するための指標。

^{*5}: 使いみちを特定されず、どのような経費にも使用することが出来る財源です。市税、地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金などがこれにあたります。



まめちしき〜でしゅ

ワン!

ちょっと難しい財政用語

専門用語はなかなか分かりづらいものです。ここでは本文で使用、説明している用語以外の財政に関する用語をいくつか紹介します。

① 一般会計

市税、国や県からの補助金・交付金、手数料などの収入や、市の仕事に必要なお金の処理をまとめて行うために設けられた会計

② 歳入

年度における一切の収入

③ 歳出

年度における一切の支出

④ 分担金・負担金

保育園や保育料など、市が行う事業で利益を受ける方から、受益を限度としていただくお金

⑤ 諸収入

延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入など

⑥ 国庫支出金

国と市が共同で事業を行う場合に定められる支出金、負担金、補助金

⑦ 県支出金

県が市に対して支出するお金

⑧ 自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源。地方税、財産収入、寄附金など

⑨ 依存財源

国や県の配分による財源

⑩ 積立金

年度間の財源変動に備えて積み立てる経費

⑪ 義務的経費

歳出のうち必要経費として簡単に削減できない経費

⑫ 投資的経費

道路、公園、学校、公営住宅の建築など社会資本の整備に要する経費

佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。また市役所6階行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。

お問い合わせ先

佐世保市財務部財政課

TEL.0956-24-1111(内線2631~34) 〒857-8585 佐世保市八幡町1番10号
ホームページアドレス <http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>